

令和2年度仙台市建築物環境衛生管理講習会

感染症対策と換気等

令和3年2月16日（火）

仙台市 健康福祉局 保健所 生活衛生課



研修資料について

- この研修資料は令和3年1月31日時点の情報に基づき作成されています
- 新型コロナウイルス感染症の最新の情報について、首相官邸や、厚生労働省、仙台市ホームページ、各種ガイドライン等を適宜ご確認いただき、適切な対応をしていただきますようお願いいたします

空気環境に関する規制について

建築物における衛生的環境の確保に関する法律（同法施行令第2条）により

- ・ 空気調和設備
（浄化、温度調節、湿度調節、流量調節ができる設備）
 - ・ 機械換気設備
（浄化、流量調節ができる設備）
- を設けている場合

2か月以内ごとに1回空気環境測定を行い、基準に適合させる必要があります

空気環境測定項目及び基準

測定回数	測定項目	基準値	空気調和設備	機械換気設備
2ヶ月以内ごとに1回	浮遊粉じんの量	0.15 mg/m ³ 以下	○	○
	一酸化炭素	10 ppm以下	○	○
	<u>二酸化炭素</u>	<u>1,000 ppm以下</u>	○	○
	温度	17°C～28°C	○	—
	相対湿度	40%～70%	○	—
	気流	0.5 m/sec以下	○	○
新築等	ホルムアルデヒドの量	0.1mg/m ³ (0.08ppm)以下	○	○

新型コロナウイルス感染症について

• 感染経路

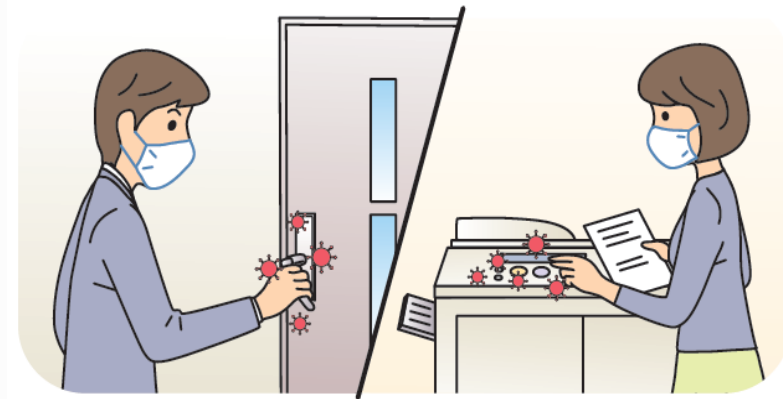
飛沫感染と接触感染の2つが考えられています

• 飛沫感染

感染者の飛沫を口や鼻から吸い込んで感染します

• 接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後に触れたドアノブやスイッチなどから未感染者の手を介し感染します



感染予防の基本的考え方

■ 「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避

- 1 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- 2 密集場所（多くの人々が密集している）
- 3 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離で会話等が行われる）

- リスクの1つである密閉空間となることを防ぐために換気の高まっています



厚生労働省から換気に関するの通知が発出されています

～ **商業施設等の管理者の皆さまへ** ～

**冬場における「換気の悪い密閉空間」を
改善するための換気の方法**

外気温が
低下による

✓ 「換気の
一人あた
人が密集

～ **商業施設等の管理権原者の皆さまへ** ～

**「換気の悪い密閉空間」を
改善するための換気の方法**

各種通知における空気環境に関する留意点

- 必要換気量（一人あたり毎時 30m^3 ）を確保する
換気量確認として CO_2 濃度 1000ppm 以下か測定する
- 換気量が十分でない施設においては窓を開けて換気する
- 換気は間欠的ではなく連続で実施する
- 居室の温度および相対湿度を 18°C 以上かつ 40% 以上に維持する（冬季）



CO₂濃度測定について

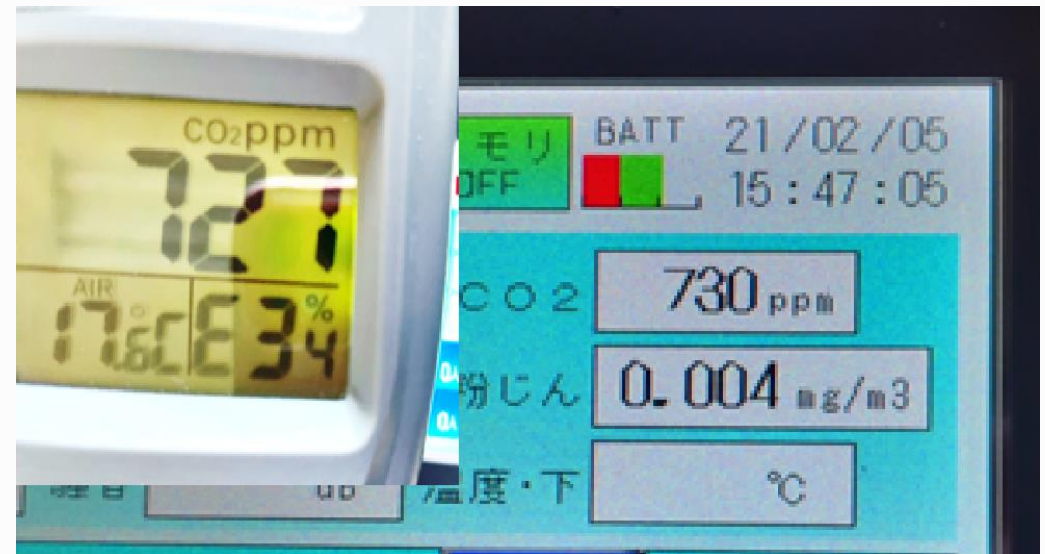
- 測定箇所を増やすことを検討する

テナントビルなどで決まったテナントのみで実施している場合、普段対象となっていないテナントについても測定を検討する

- CO₂濃度測定器の利用を検討する

局所的なCO₂濃度の参考数値が分かります。使用する場合には、既存機器や外気CO₂濃度(400~500ppm)

と比較し異常な数値が出ないことを確認してください



空調設備の点検について

- 事例 1 空調連動型の換気設備

状況

- 冷暖房連動での全熱交換器作動
- 中間期は冷暖房停止→全熱交換器も停止

対策

- 単独運転、もしくは送風運転設定
- 換気装置使用方法の注意喚起



空調設備の点検について

- 事例2 単独運転全熱交換器
状況
- 照明のスイッチと同じ場所に全熱交換器のスイッチがある
- 換気装置だとわからずに消されてしまっている

対策

- 案内表示がついたスイッチカバーに変更する。



空調設備の点検について

- 事例 3 全熱交換器があるが使用されていなかった

状況

- 全熱交換器が設置されているが、使用できるか施設側で把握していない
- 窓開け換気だけを行っている
- 開いている窓の間だけ外気導入されているが、それ以外の場所については外気が導入されていない。

対策

- 設備の点検を行い全熱交換器が使用可能かどうか確認する。

空調設備の点検について

- 空調機器のフィルタは適切に交換されていますか
- 窓開け換気を行っても換気量が不足する場合、HEPAフィルターろ過式空気清浄機を併用することも勧められています
 - 窓や壁に近すぎない
 - 作業している人の近くに置く
 - 排気口の近くに置かない
- 湿度が低い場合、ポータブル加湿器の使用も勧められています。使用する場合、レジオネラ属菌等の繁殖を防ぐため毎日換水して下さい

加湿器の種類

- 加湿方式にはいくつかの種類がありますので、使用する際には特徴を確認して選定してください

	仕組み	特徴
気化式	濡れたフィルターに風をあて、水分を気化	湿度を自動制御する機種が多い／カビが発生しやすい
ハイブリッド式	濡れたフィルターに温風をあて効率よく水分を気化	小型でも加湿能力が高い／電気代がやや高い
スチーム式	ヒーターで加熱して蒸気を放出	加湿能力が高く雑菌がほとんど死滅する／やけどに注意
超音波式	超音波振動で微細な霧にして放出	電気代が安い／レジオネラ属菌繁殖のリスクが高い

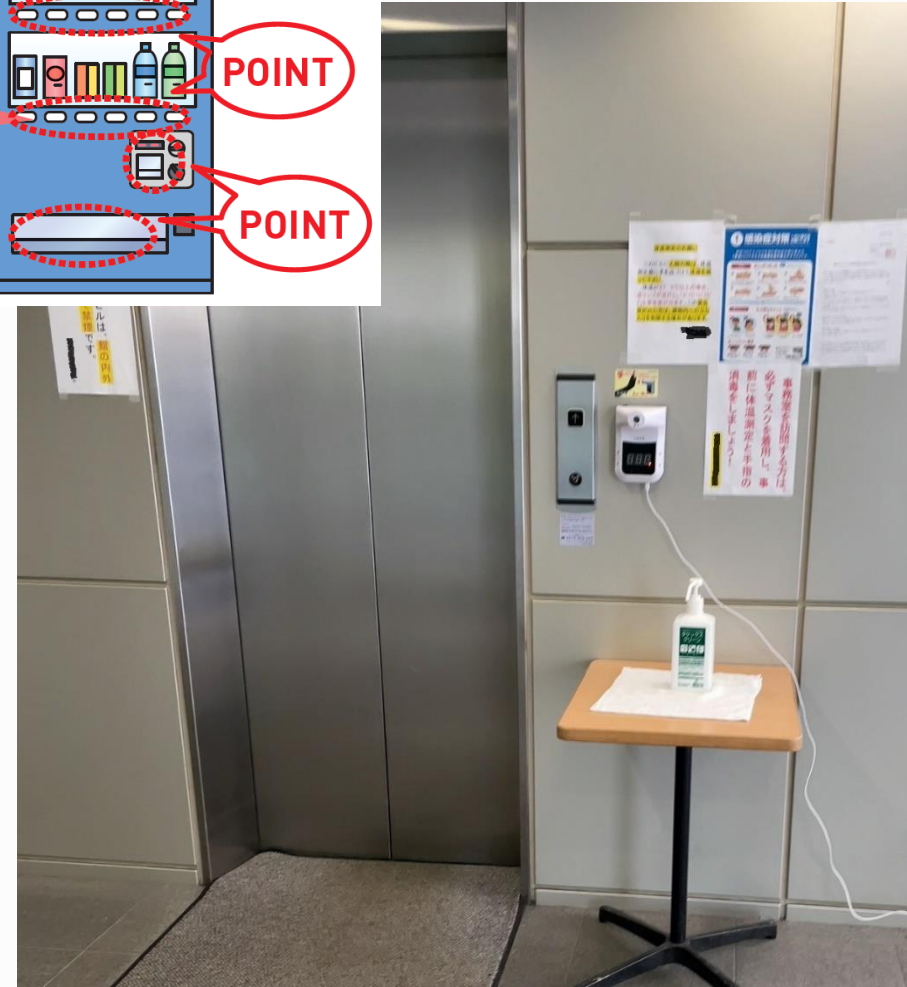
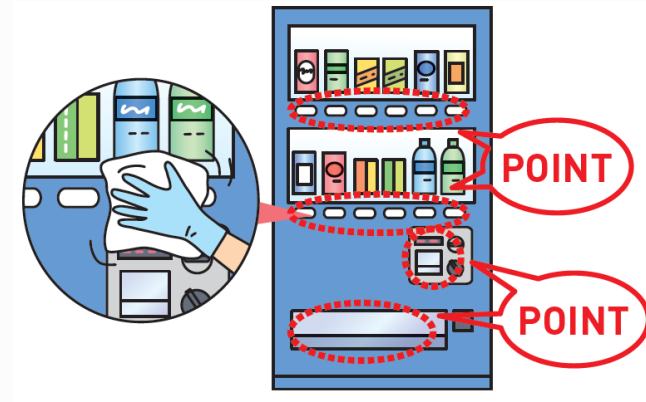
その他

- 喫煙室においては、換気扇にほこりが堆積しやすいため、こまめに点検してください。また、利用人数の制限や会話を控えるよう要請することも検討してください



日常清掃における注意点

- よく触れる場所の消毒
湯沸かしポット、コーヒーマーカー
自動販売機、コピー機など
- 使い捨てのペーパータオルの用意
- 排水トラップの破封に注意
- 手指消毒薬は使いやすい場所に設置する



ご清聴ありがとうございました